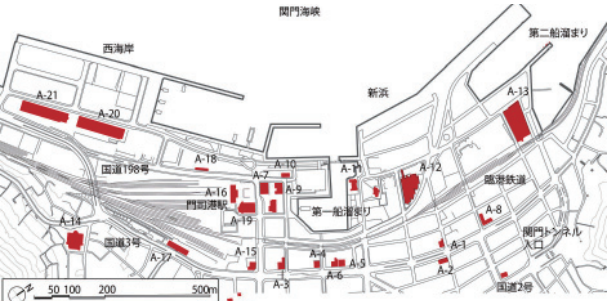


門司港レトロ地区は、開港以来の繁栄の歴史を物語る数多くの歴史的建造物が存在している（下図）。これらのうち、幾つかの主要な建造物は保存対象となり、レトロ事業（ふるさと事業）や歴史的港湾環境創造事業等の支援を受けて保存修復の対象となっている。しかし、一方で市井に残る幾つかの建造物は地元市民の保存要望にも関わらず解体されたものもあり、早急に現存している建造物の状況を把握したうえで、何らかの保存活用方を講じることが求められていた。

本調査は現存する歴史的建造物リストを作成し、各々の所有者の同意を得て、建物現況調査および評価、所有者意向調査、活用方法の検討などを行ったものである。リストは30棟近くに及ぶが、所有者の同意を得て調査できた建造物は計13棟に及び、第一編にその調査概要（建物基礎データ、意向調査）、第二編は活用方法も含む回遊性ネットワーク等の提案、第三編は残念ながら解体が決定した学校法人北九州Y M C A学園信愛幼稚園の建物調査記録として取りまとめている。



解体直前の調査対象となった北九州Y M C A学校法人北九州学園Y M C A信愛幼稚園（旧Y M C A門司プラント、1916（大正5）年築、レンガ造2階建て、設計者はデ・ランデと言われていたが、確認は得られなかった）



門司港地区における歴史的建造物の分布

A-1: 福岡中央銀行門司支店	A-2: 福岡ひびき信用金庫門司港支店	A-3: 福岡シティ銀行門司支店	A-4: 日本船舶通運九州支店	A-5: 明治屋門司営業所	A-6: 大分銀行門司支店
A-7: 門司郵便ビル	A-8: N T T 門司営業所	A-9: 旧大阪商船	A-10: ホームランガー商会	A-11: 旧門司校舎	A-12: 門司港レトロ駐車場
A-13: 三井倉庫門司支店倉庫	A-14: 門司区役所	A-15: 山口銀行門司支店	A-16: J R 門司港駅	A-17: 九州鉄道記念館	A-18: 海運ビル
A-19: J R 九州旧本社ビル	A-20: 西海岸1号上屋	A-21: 西海岸2号上屋	A-22: 旧門司三井倶楽部	B-1: 関門連絡船通路跡	城外: 福岡倉庫事務所門司倉庫

主要な歴史的建造物リスト

経緯 門司港レトロ歴史的建造物活用計画策定調査‘99.2～3（北九州市）／歴史的遺産を活用した門司港地区都市再生調査‘03.12～‘04.3（北九州市）
担当：中野、岩村、熊耳、田邊、松尾／協力：萩原総合計画事務所（萩原真）、（株）UFJ 総合研究所（別途委託）